第3回本のまちビジョン検討委員会 まとめ

第3回でいただいた主なご意見の概要と、ビジョン素案への反映内容の一覧です。これらの修正を反映した状態でパブリックコメントを実施しました。

No	意見概要	該当箇所	修正内容
1	本を読むことでやさしいまちにつながるどころの理屈をもう少し丁寧に記載したほうが良いのではないかと	P4	該当部分の文章変更
2	本のまちはいろいろな人や場所が共振し共創することを期待するものであり、それをどこかに記載するべきではないかと	P5	ページ下部に図と一緒に追加
3	P9 イメージ図とは別に、市長が描いた図くらいのシンプル版をビジョンの最初に載せた方が分かりやすいのでは	P5	「本に関わる全ての人や場所とともに進めていく」という文のイメージとして図を追加
4	本は想像(創造)力や生きる力を育むことができるもの。重要な要素であるので大切にしたい6つのイメージのどこかで触れても良いのではないかと	P7~8	「知りたい情報が得られる」→「読む・知ることで想像力や創造力を育む」に変更。「生きる力」は概要欄に記述追加
5	大切にしたい6つのイメージについて、「知りたい情報」だけでなく「知り方」を知ることが大事ではないかと	P8	「読む・知ることで想像力や創造力を育む」の概要欄で知り方や活用について強調
6	大切にしたい6つのイメージの「本のある場所でくつろぎ、過ごしたいように過ごせる」は「本のある場所に集い、それぞれが過ごしたいように過ごせる」という表現にしてはどうか	P8	「本のある場所に集い自分らしく過ごせる」に変更
7	P10 の図に保育絵本も記載すべき。	P10	図中左あたりに追加
8	P10 の図の中の「身近な本のある公共スペース」という表現は「本のある公共施設」に修正したほうが良いのではないかと。	P10	左記の通り図の表現を変更
9	「4 本のまちを推進する人や場所」と「5 本のまちを推進する人や場所の連携」は一つにまとめたほうが良い。	P11~16	4と5まとめて一項目にした
10	「4 本のまちを推進する人や場所」と「5 本のまちを推進する人や場所の連携」は、民営、公設を分けたほうが良いのでは。また現在は本を置いていない公設の場所も加えて記載できないかと。	P11~16	表を『個人、民間団体、事業者等』『公共施設』『市立図書館と市』の3つに分け、タイトル行を色分けした。「その他公共施設」の項目を追加した
11	本のある場所についてどのような場所かをわかりやすくするため、キャッチフレーズのようなものを考えたほうが良い。	P11~16	主体名の下に波線付で追加(市民、書店、その他公共施設、市立図書館、市はキャッチフレーズなし)
12	パブコメ前に書店や出版社に内容確認してもらっては	P12 ほか	確認済み(特に修正なし)
13	図書館の役割は地域情報の収集だけでなく、地域の情報を作っていくことも含まれるのではないかと。	P15	役割の地域情報収集に関する部分を修正
14	これからの図書館は情報支援だけでなく、活動支援を行っていくことも重要となるのではないかと	P15	情報支援と活動支援を区別した書き方にすることで強調
15	図書館は交流したい人や元気な人だけでなく、例えば引きこもりの子にとっての居場所にもなり得る。その内容をビジョンにも。	P15	図書館の役割にある「対話と交流の促進」に並べる形で「多様な過ごし方を許容する居場所」を追加
16	市の取組の「基礎となる取組」の部分に「これからの学びを支える」「共に創り上げていく」という言葉を入れたい。	P17	「新たな取組の企画・立ち上げ等を行う」→「～市民と協働で行う」に変更
17	本のまちは突然始めるものではなく、これまでの取組も踏まえたもの。市のこれまでの本のまちの取組も掲載してはどうか。	P19~21	本のまちの年表追加。それに伴い2章のタイトルも「これまでの取組とビジョン策定の過程」に変更
18	何がビジョンなのか分かりにくい。「本とつながる・本からつながる」なのであれば全体のタイトルにサブタイトルとして追加しても良いのでは	タイトル	未反映・要検討
19	第1章1~6の各タイトルに、内容が分かるようなサブタイトルをつけるとよいのではないかと	P4~17	未反映・要検討